令和８年（２０２６年）６月１０日
（公財）長野県産業振興機構
マーケティング支援部
TEL：026（227）5013
FAX：026（228）2867
E-mail：matching@nice-o.or.jp

登録受注企業経営動向調査結果

令和８年（2026年）４月分

公益財団法人長野県産業振興機構

≪ 目　次 ≫

ページ

Ⅰ 調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ 調査結果の要約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ 経営動向調査集計結果

1・受注量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2・3 か月後の受注見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3・受注単価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

4・操業度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5・収益性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

6・取引条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

7・経営上の問題点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

8・今後の対応策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

9・回答企業の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

【資 料】

登録受注企業経営動向調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

Ⅰ　調査の概要

１　目　　的

長野県内の中小企業の経営動向を把握し、事業を推進する上での資料とするとともに、全体の動向について情報提供を行う。

２　対　　象

当機構登録受注企業より、任意に抽出した２００企業を継続的に対象としている。

３　時　　期

令和８年４月末現在の状況について、５月に調査を行っている。

４　方　　法

往復ハガキを使用したアンケートにより調査を行っている。

５　内　　容

調査内容については、【資料】登録受注企業経営動向調査票（１０ページ）のとおりである。
なお、現在の受注量及び収益性については、３か月前と比べた状況（増加・減少）（向上・悪化）を質問している。
調査結果については、ＤＩ方式を用いて、項目毎に動向を判断している。

＊ＤＩ（*Diffusion Index*）：「増加」、「上昇」、「向上」とする企業の割合から、「減少」、「低下」、「悪化」とする企業の割合を引いた値

６　回収の状況

対象企業数	200 社
回答企業数	185 社
回答率	92,5%

７　回答した企業の構成

Ⅲの８（９ページ）のとおりである。

８　調査の公表

本調査の結果は、当機構ＨＰに過去４回分と併せて掲載後、長野県発表資料（プレスリリース）に掲載される。各項目の構成比は四捨五入しているため、合計が１００％にならない場合がある。
https://www.nice-o.or.jp/?post_type=info&p=74284

登録受注企業経営動向調査について

当機構では、工業系製造業の事業者のうち、当機構による受発注のあっ旋・紹介を受けたいと申出をされた事業者の登録を行い、受発注のあっ旋・紹介、企業情報の提供、苦情・紛争の相談、その他展示会等に関する情報の提供などを行っている。
令和８年４月末現在、登録発注企業約1,３００社、登録受注企業約1,２００社となっている。
本調査は、上記１の目的で登録受注企業を対象とし、昭和５４年以降四半期ごとに実施をしている。

Ⅱ　調査結果の要約　令和８年（2026年）４月分

【概　況】

■ **受注量ＤＩは前回調査（１月分）に比べて大幅に上昇しているが、３か月後の受注量見通しは低下している。**

① 受注量ＤＩは１８．５となり、前回調査（▲１．１）から１９．６ポイント上昇している。
内訳は、「増加した」とする企業の割合が前回調査より９．１ポイント上昇し、「減少した」とする企業の割合が前回調査より１０．５ポイント低下している。

② ３か月後の受注量の見通しＤＩは、▲０．５となり、前回調査（６．６）より、７．１ポイント低下している。

③ 材料費込みの受注単価ＤＩは４２．０となり、前回調査（２３．２）より１８．８ポイント上昇し、加工賃のみの受注単価ＤＩは１８．１となり、前回調査（８．４）より９．７ポイント上昇している。

④ 操業度は、「１００%～８０%超」とする企業の割合が最も高く４９．２%である。前回調査と比べると、「１００%超」とする企業が４．１ポイント、「１００%～８０%超」とする企業の割合が７．９ポイント上昇している。また、今回「６５%～５０%超」とする企業が０．３ポイント低下している。

⑤ 収益性のＤＩは▲７．１となり、前回調査（▲１３．２）より６．１ポイント上昇している。

⑥ 委託事業者の取引代金の支払方法は、「全額現金」とする企業の割合が６２．７%と最も高く、次いで「現金と手形の併用」「全額手形」の順となっている。また、手形のサイトは、「９０日以内」とする企業の割合が４９．３%と最も高くなっている。

⑦ 経営上の問題点では、「受注量の減少」とする企業の割合が、３４．６%と最も高く、前回調査より３．９ポイント低下している。次いで「経費の上昇（材料の高騰含む）」が２３．８%、「求人難」が１８．３４%の順となっている。

⑧ 今後の対応策では、「人材の確保・養成」とする企業の割合が４０．８%で最も高く、前回調査と比べ０．２ポイント上昇している。次いで「取引先の拡大」２８．３%となっている。

⑨ 回答企業の構成は一般機械加工が３８．４%、次いで自動盤加工及びプレス加工が１０．８%となっている。従業員規模別の構成は５０人以下が２６．０%、次いで１０人以下が２１．５%、１００人以下が１８．６%となっている。
受注量に変化があった製品について、増加と回答した企業は２６社となり、その内半導体関連が５４．４%と過半を占めた。減少と回答した企業は５３社となり、その内半導体関連が２０．０%、電子部品が２０．０%となった。



1　受注量：ＤＩは１８．５

受注量 DI は１８．５となり、前回調査より１９．６ポイント上昇している。

	今　回（4月）	前　回（1月）
増　加	３２．２%	２３．１%
横ばい	５３．６%	５２．７%
減　少	１３．７%	２４．２%
Ｄ　Ｉ	１８．５	▲１．１

3か月後の受注量見通しＤＩは▲０．５となり、前回の予測より７．１ポイント低下している。

	今回予測（7月見通し）	前回予測（4月見通し）
増　加	２０．０%	２２．１%
横ばい	５９．５%	６２．４%
減　少	２０．５%	１５．５%
Ｄ　Ｉ	▲０．５	６．６

2　受注単価：ＤＩは４２．０（材料費込み）、１８．１（加工費のみ）

（１）材料費込みの受注単価

受注単価ＤＩ（材料費込み）は、４２．０となり、前回調査との比較では、１８．８ポイント上昇している。

	今　回（4月）	前　回（1月）
値上りした	４２．６%	２４．４%
変わらない	５６．２%	７４．４%
引下げられた	０．６%	１．２%
ＤＩ	４２．０	２３．２

（２）加工費のみの受注単価

受注単価ＤＩ（加工費のみ）は１８．１となり、前回調査との比較では、９．７ポイント上昇している。

	今　回（4月）	前　回（1月）
値上りした	２０．５%	１２．０%
変わらない	７７．１%	８４．４%
引下げられた	２．４%	３．６%
ＤＩ	１８．１	８．４

3　操業度

操業度は、「１００%～８０%超」とする企業の割合が最も高く４９．２%である。前回調査と比べると、「１００%超」とする企業が4．１ポイント、「１００%～８０%超」とする企業の割合が7．９ポイント上昇している。「５０%以下」とする企業も1．０ポイント上昇している。また、今回「８０%～６５%超」とする企業が１３．３ポイント、「６５%～５０%超」とする企業が０．３ポイント低下している。

	今　回（4月）	前　回（1月）
100%超	１１．９%	７．８%
100%～80%超	４９．２%	４１．３%
80%～65%超	２５．９%	３９．２%
65%～50%超	９．２%	９．５%
50%以下	３．２%	２．２%

４　収益性：ＤＩは▲７．１

収益性 DI は▲７．１となり、前回調査との比較では６．１ポイント上昇している。

	今　回（4月）	前　回（1月）
向上した	２０．１％	１６．６％
変わらない	５２．７％	５３．６％
悪化した	２７．２％	２９．８％
ＤＩ	▲７．１％	▲１３．２

５　取引条件

委託事業者の取引代金の支払方法は、「全額現金」とする企業の割合が６２．７％と最も高く、次いで「現金と手形の併用」「全額手形」の順となっている。また、手形のサイトは、「９０日以内」とする企業の割合が４９．３％と最も高くなっている。

	今　回（4月）	前　回（1月）
全額現金	６２．７％	５５．３％
現金と手形の併用	３５．１％	４３．０％
全額手形	２．２％	１．７％
90 日以内	４９．３％	４５．２％
91 日～120 日	４１．１％	４８．８％
121 日～150 日	８．２％	４．８％
151 日以上	１．４％	１．２％

６　経営上の問題点

「受注量の減少」とする企業の割合が、３４．６％と最も高いが、前回調査より３．９ポイント低下している。次いで「経費の上昇（材料の高騰含む）」が２３．８％、「求人難」が１８．４％の順となっている。

	今　回（4月）	前　回（1月）
受注量の減少	３４．６％	３８．５％
単価の引下げ	１．１％	０．０％
コストダウン・高品質化	２．７％	２．２％
経費の上昇（材料の高騰含む）	２３．８％	１４．３％
求人難	１８．４％	２３．１％
人件費の上昇	８．１％	１０．４％

７　今後の対応策

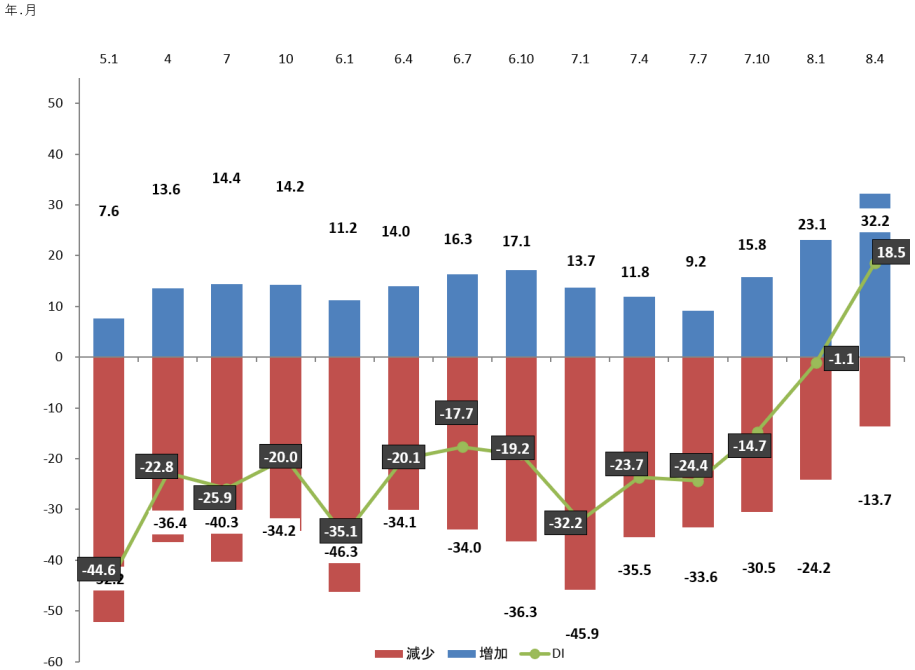
「人材の確保・養成」とする企業の割合が４０．８％と最も高い。次いで「取引先の拡大」が２８．３％、品質向上等による高付加価値化が６．５％となっている。

	今　回（4月）	前　回（1月）
取引先の拡大	２８．３％	３１．１％
人材の確保・養成	４０．８％	４０．６％
多品種少量生産への対応	１．１％	１．７％
自社製品への取組強化	２．７％	２．８％
品質向上等による高付加価値化	６．５％	３．９％

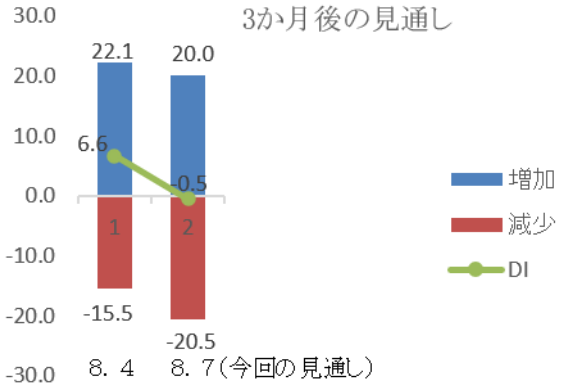
Ⅲ　経営動向調査集計結果（令和８年度・第１回分）

（注）　棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合である。
　　折れ線グラフ（ＤＩ）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いたものである。
　　構成比については、項目毎に小数第２位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

１　受注量

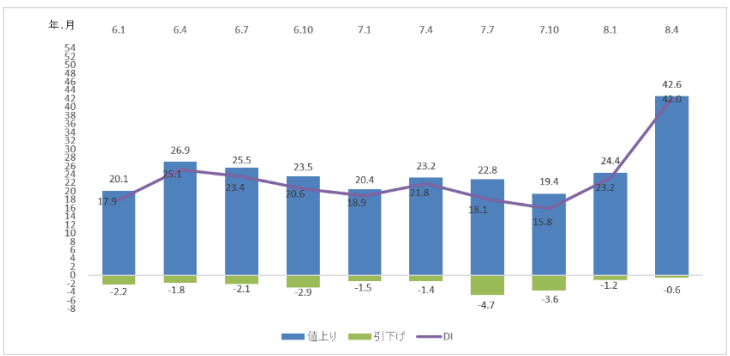


２　３か月後の受注見通し

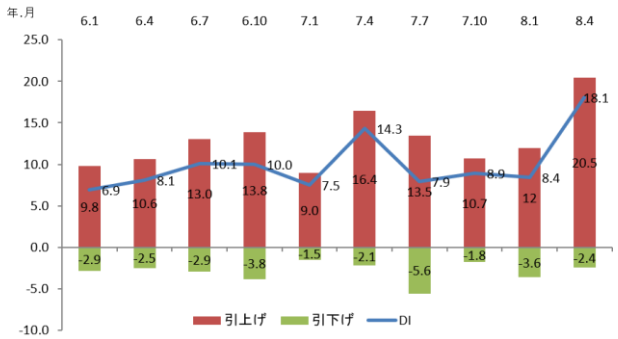


３　受注単価

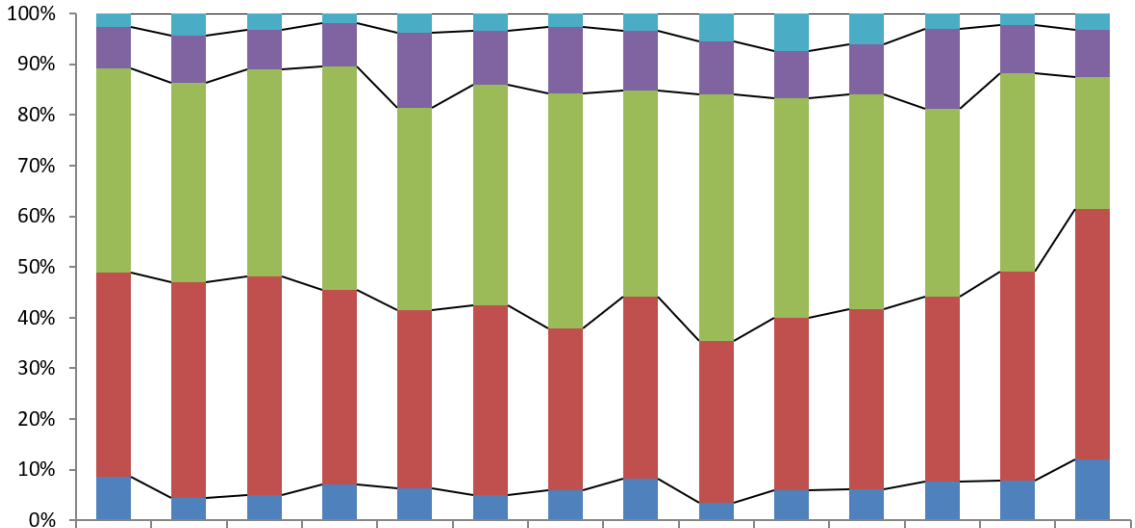
（１）材料費込みの受注単価



（２）　加工費のみの受注単価



4　操業度



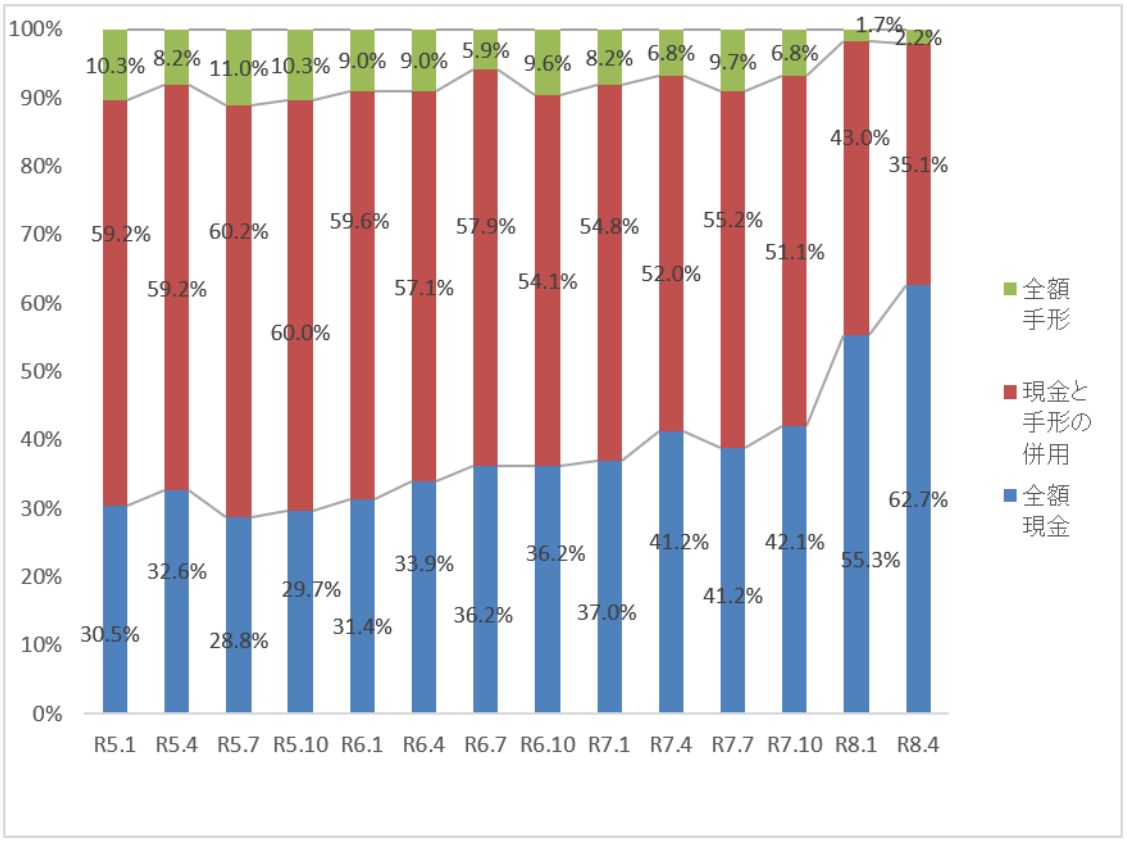
	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7	R7.10	R8.1	R8.4
50%以下	2.7%	4.4%	3.3%	1.9%	3.7%	3.4%	2.6%	3.4%	5.6%	7.3%	6.1%	2.9%	2.2%	3.2%
65%～50%超	8.2%	9.3%	7.7%	8.4%	14.9%	10.7%	13.1%	11.7%	10.4%	9.3%	9.8%	15.9%	9.5%	9.2%
80%～65%超	40.2%	39.3%	40.9%	44.3%	39.9%	43.5%	46.4%	40.7%	48.6%	43.4%	42.4%	37.1%	39.2%	25.9%
100%～80%超	40.2%	42.6%	43.1%	38.3%	35.1%	37.3%	32.0%	35.9%	31.9%	34.0%	35.6%	36.5%	41.3%	49.2%
100%超	8.7%	4.4%	5.0%	7.1%	6.4%	5.1%	5.9%	8.3%	3.5%	6.0%	6.1%	7.6%	7.8%	11.9%

5　収益性

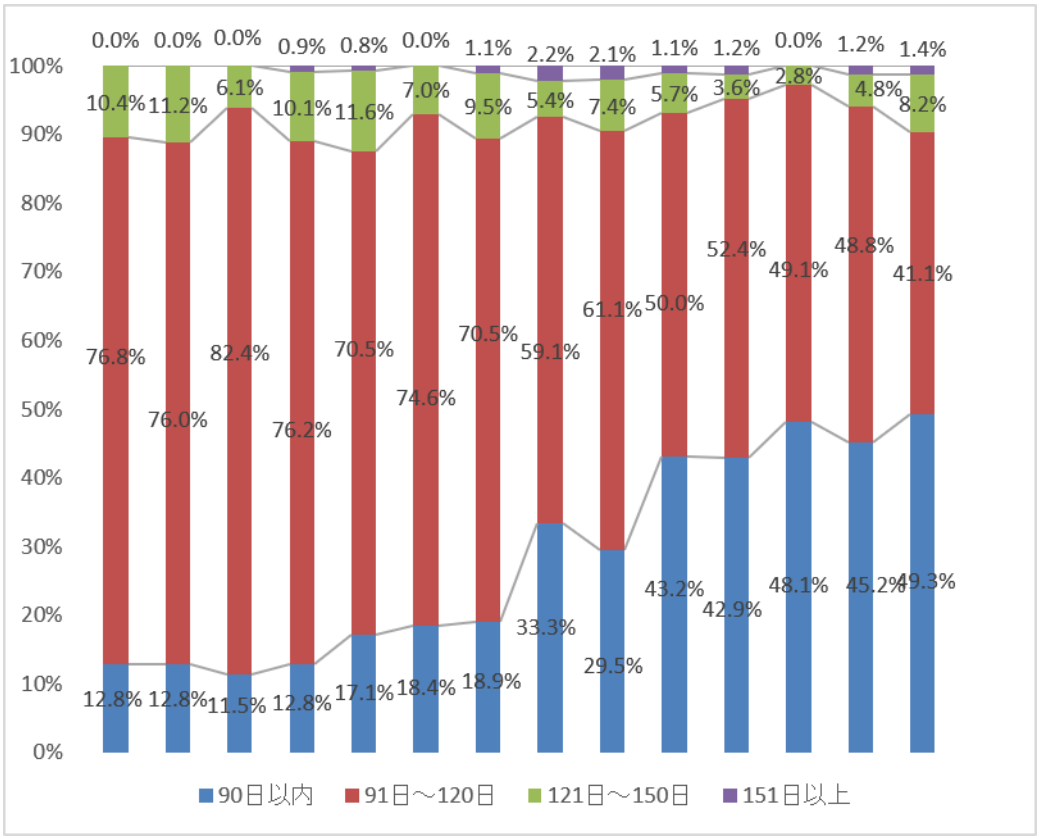


６　取引条件

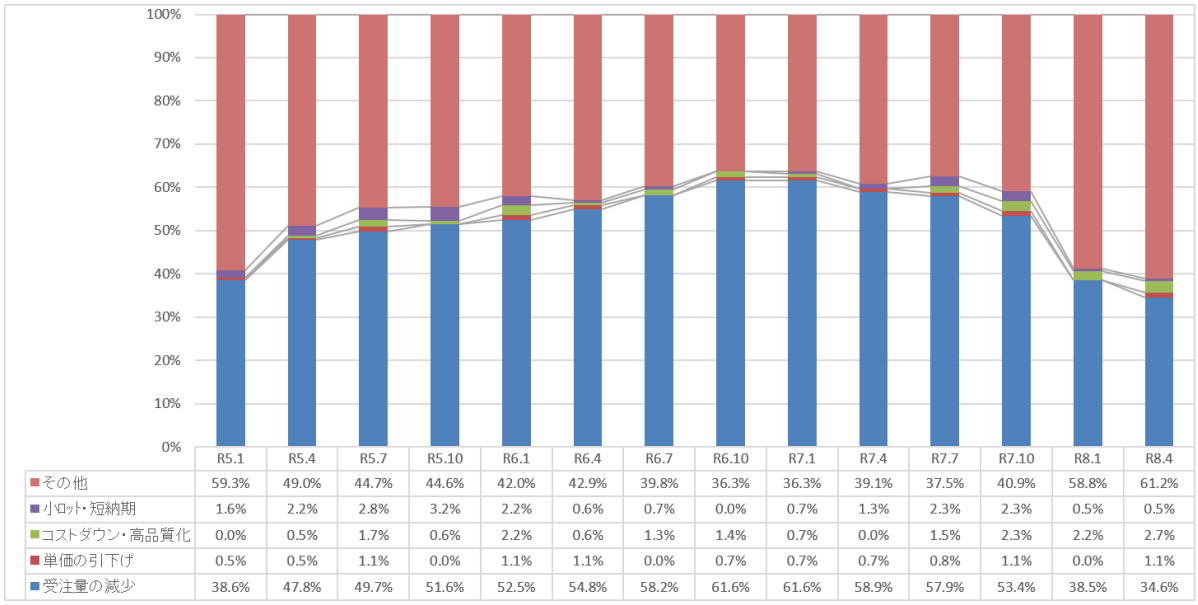
（１）委託事業者の取引代金の支払方法



（２）手形サイト



7　経営上の問題点



	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7	R7.10	R8.1	R8.4
その他	59.3%	49.0%	44.7%	44.6%	42.0%	42.9%	39.8%	36.3%	36.3%	39.1%	37.5%	40.9%	58.8%	61.2%
小ロット・短納期	1.6%	2.2%	2.8%	3.2%	2.2%	0.6%	0.7%	0.0%	0.7%	1.3%	2.3%	2.3%	0.5%	0.5%
コストダウン・高品質化	0.0%	0.5%	1.7%	0.6%	2.2%	0.6%	1.3%	1.4%	0.7%	0.0%	1.5%	2.3%	2.2%	2.7%
単価の引下げ	0.5%	0.5%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%	0.0%	1.1%
受注量の減少	38.6%	47.8%	49.7%	51.6%	52.5%	54.8%	58.2%	61.6%	61.6%	58.9%	57.9%	53.4%	38.5%	34.6%

■その他の内訳

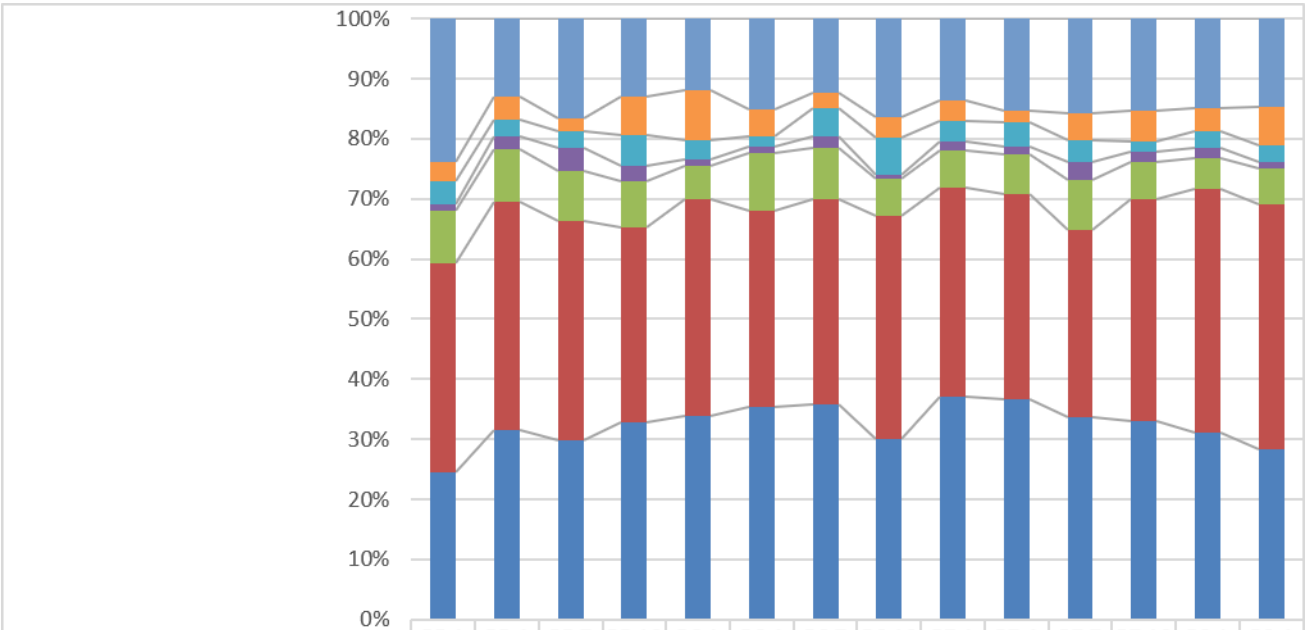
・経費の上昇（材料の高騰含む）
23．8%

・求人難
18．4%

・人件費の上昇
8．1%

等を含む

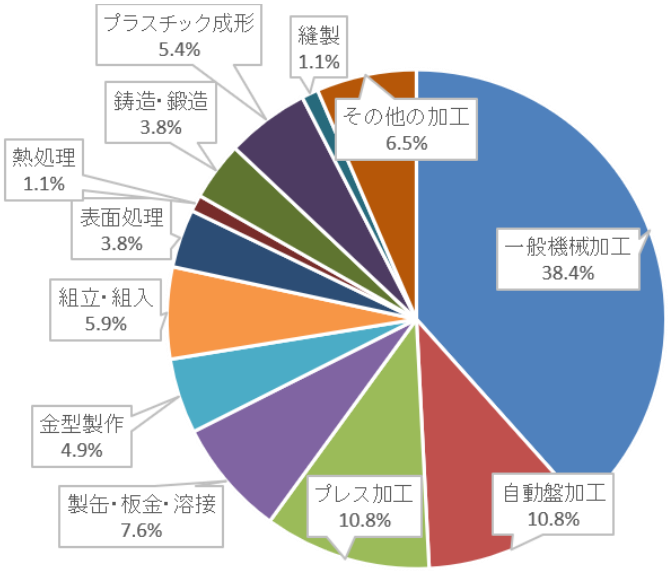
8　今後の対応策



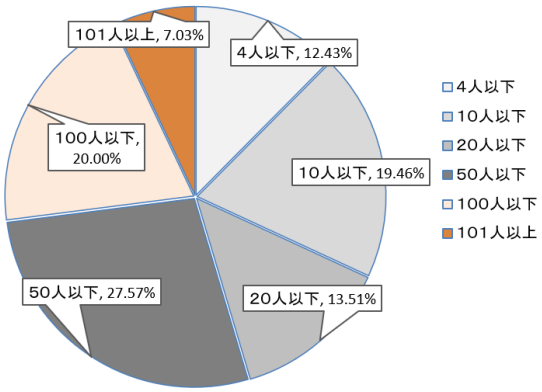
	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7	R7.10	R8.1	R8.4
その他	23.9%	13.0%	16.6%	12.9%	12.0%	15.1%	12.4%	16.4%	13.7%	15.3%	15.7%	15.3%	14.9%	14.7%
品質向上等による高付加価値化	3.3%	3.8%	2.2%	6.5%	8.2%	4.5%	2.6%	3.4%	3.4%	2.0%	4.5%	5.1%	3.9%	6.5%
自社製品への取組み強化	3.8%	2.7%	2.8%	5.2%	3.3%	1.7%	4.6%	6.2%	3.4%	4.0%	3.7%	1.7%	2.8%	2.7%
多品種少量生産への対応	1.1%	2.2%	3.9%	2.6%	1.1%	1.1%	2.0%	0.7%	1.4%	1.3%	3.0%	1.7%	1.7%	1.1%
自動化・省力化によるコストダウン	8.7%	8.7%	8.3%	7.7%	5.5%	9.6%	8.5%	6.2%	6.2%	6.7%	8.2%	6.3%	5.0%	6.0%
人材確保・養成	34.8%	38.0%	36.5%	32.3%	36.1%	32.6%	34.0%	37.0%	34.9%	34.0%	31.3%	36.9%	40.6%	40.8%
取引先の拡大	24.5%	31.5%	29.8%	32.9%	33.9%	35.4%	35.9%	30.1%	37.0%	36.7%	33.6%	33.0%	31.1%	28.3%

９　回答企業の構成

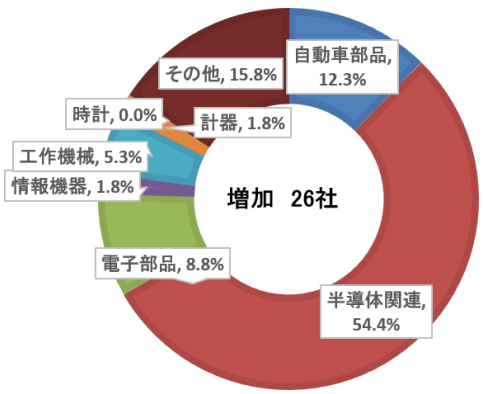
（１）加工別の構成

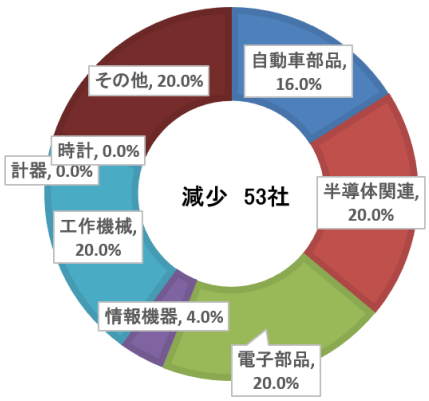


（２）従業員規模別の構成



（３）受注量に変化があった製品





登録受注企業経営動向調査票　令和８年度・第１回

（令和8年４月末現在）

◎記入上の御注意

下記の設問について、各々１つだけ○印を付けて下さい。

※印の設問については「受注依存度の最も高い取引先企業を対象」として御記入下さい。

問１	現在の受注量は３ヶ月前に比べ		a.増　加　　b.横ばい　　c.減　少
	受注量の変化のあった（上の設問で「a.増加」か「c.減少」を選んだ）関連業種は何ですか。 １つだけ○印をつけてください		a.自動車部品　b.半導体関連　c.電子部品 d.情報機器　e.工作機械　f.計器 g.時計　h.その他(　　)
問２	今後の受注量の見通しは（３ヶ月後）		a.増　加　　b.横ばい　　c.減　少
※問３	受注単価は、３ヶ月前に比べ	1 材料費込の場合	a.値上りした　b.変わらない　c.引下げられた
		2. 加工費のみの場合	a.値上りした　b.変わらない　c.引下げられた
問４	現在の操業度は生産能力に比べ		a.１００%超　b.１００～８０%超　c.８０～６５%超 d.６５～５０%超　e.５０%以下(　　%)
問５	収益性は３ヶ月前に比べ		a.向　上　　b.変わらない　　c.悪　化
※問６	委託事業者の取引代金の支払方法		a.全額現金　b.現金と手形の併用　c.全額手形
※問７	前問でｂ、ｃと回答した場合その手形サイトは		a.９０日以内　b.９１～１２０日　c.１２１～１５０日 d.１５１～１８０日　e.１８０日以上
問８	企業経営上、現在最も問題となっていることは何ですか。 １つだけ○印をつけて下さい。		a.受注量の減少　b.単価の引き下げ c.求人難　d.長時間労働 e.小ロット・短納期　f.コストダウン・高品質化 g.人件費の上昇　h.経費の上昇(材料の高騰含む) i.経営者の高年齢又は後継者難 j.機械設備の陳腐化 k.資金繰り　l.その他(　　)
問９	今後の経営の方向について貴社としてどのような対応が必要とお考えですか。 重要とおもわれるもの１つだけ○印をつけて下さい。		a.人材確保・養成　b.取引先の拡大 c.労働時間の短縮　d.自動化・省力化によるｺｽﾄﾀﾞｳﾝ e.福利厚生制度・施設の充実 f.多品種少量生産への対応 g.品質向上等による高付価値化 h.工程管理・納期管理の徹底 i.財務体質の強化　j.自社製品への取組み強化 k.経費節減　l.その他(　　)

ご協力ありがとうございました。

貴社の従業員数	イ.１～４人 ニ.２１～５０人	ロ.５～１０人 ホ.５１～１００人	ハ.１１～２０人 ヘ.１０１人以上
最もウェイトの高い加工	a.一般機械加工 d.製缶・板金・溶接 g.表面処理 j.プラスチック成形	b.自動盤加工 e.金型製作 h.熱処理 k.縫製	c.プレス加工 f.組立・組入 i.鋳造・鍛造 l.その他の加工